

年頭のご挨拶



相馬地方広域市町村圏組合
管理者 桜井 勝延

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年中は、組合行政に対しまして温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、東日本大震災及び東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故から間もなく三年が経過しようとしております。

当地方においても新たな生活基盤を確立しつつある住民もおられる一方で、原発事故に伴う避難区域では、区域再編されてから一年半以上経過しておりますが、日中の出入りが可能であるものの、以前のように自宅での生活ができる状況に至っていません。また、それ以外の区域でも放射性物質に不安を抱えて暮らしており、今なお多くの住民が県内外での避難生活を続けている状況にあります。

当地方の構成市町村では、大震災等からの復旧・

復興に向け、全力を傾注しておりますが、除染、防災集団移転事業、地域医療体制の再構築、原発事故による風評被害等、住民が安全で安心して生活するための問題が山積しております。

このような状況を踏まえ、組合といたしましては、地域住民の生命と財産を守るために消防体制の機能強化や、依然、厳しい環境にある医療現場の一助としての看護師養成機関である相馬看護専門学校の運営等、さらに努力してまいりる所存であります。また、風評被害に負けない地域振興等について、積極的に取り組んでまいります。

最後に、相馬地方の一日も早い復旧・復興に向け、構成市町村との連携を密にし、組合職員ともども全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



身近な火災防止対策

トラッキング現象とは？

長い間コンセントやテーパータップに電源プラグを差したままにしていると、そのすき間にほこりがたまってきます。

そこに湿気が加わると、電源プラグの刃の間で火花放電が繰り返されます。その熱がコンセントに接する絶縁部を加熱し、電源プラグの刃と刃の間に「トラック」と呼ばれる電気の道を作ります。

やがて、そこから放電をおこし、発火します。これを「トラッキング現象」といいます。当地方管内においても、トラッキング現象による火災が発生しています。

このトラッキング現象による火災を防止するために、次のことに注意しましょう。

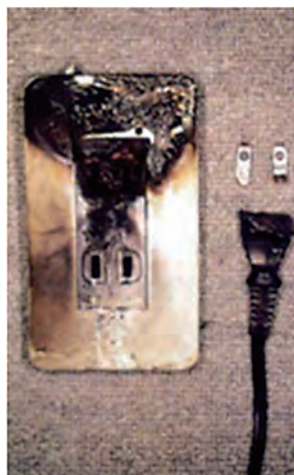
トラッキング現象が起きやすい場所は？

- ① 洗面所や台所等、湿気が高く湯気や水滴が直接かかる位置にあるコンセント等に差し込まれた電源プラグ
このような湿気の高い場所や結露が生じやすい場所に設置している家電製品のプラグには特に注意!!
- ② 家具などの裏側に設置されたコンセント等で電源プラグを長期間差し込んだままの状態になっているところ
- ③ エアコンや暖房器具などの使用により結露の生じやすいところにあるコンセント等に差し込まれた電源プラグ

実際のトラッキング現象(実験)



炎を上げて激しく燃焼



コンセントとプラグの焼損状況



トラッキング現象防止の対策として...

- ① 普段プラグを差し込んだままの電化製品（冷蔵庫やエアコン、パソコンなど）は、時々プラグを抜き、乾いた布でコンセントやプラグに付いたほこりや湿気を拭き取りましょう。
 - ② 機器の使用後は、スイッチを切って、コンセントからプラグを抜いておきましょう。
 - ③ プラグをコンセントに差し込んだとき、すき間やゆるみがないか、確認しましょう。
- ※プラグを抜くときは、絶対に濡れた手ではさわらず、ていねいに取り扱しましょう。

組合職員の給料などを公表します

相馬地方広域市町村圏組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、人事行政の運営等の状況について公表します。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

区 分	人数
平成 24 年 4 月 1 日現在の職員数	172 人
退職者等 (H24.4.1 ~ H25.3.31)	12 人
採用者等 (H24.4.2 ~ H25.4.1)	11 人
平成 25 年 4 月 1 日現在の職員数	171 人
増 減 数	△ 1 人

②職員の初任給の状況 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

区 分	相馬地方広域市町村圏組合	国
一般行政職	高校卒 142,500 円	140,100 円
消 防 職	大学卒 175,100 円	181,200 円

2 職員の給与の状況

(1) 職員給与等の状況 (平成 25 年度予算)

職 員 数 (A)	172 人
給 料	6 億 185 万 5 千円
職 員 手 当	1 億 5,698 万 6 千円
期 末 勤 勉 手 当	2 億 1,882 万 0 千円
合 計 (B)	9 億 7,706 万 1 千円
一人当たりの給与費 (B/A)	571 万 4 千円

(3) 職員の手当の状況

①期末、勤勉手当の状況 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

期 末 手 当	2.5 5 月分
勤 勉 手 当	1.3 5 月分
合 計	3.9 0 月分

(加算措置の状況)
職制上の段階、職務の級等による加算措置・職務加算 5 ~ 20%

(2) 職員の平均給料月額、初任給の状況

①平均給料月額の状況 (平成 25 年 4 月 1 日)

	一般行政職	消 防 職
平均年齢	44.11 歳	37.04 歳
平均給料月額	347,380 円	285,597 円
平均給与月額	380,538 円	362,710 円

※平均給与月額とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当等の諸手当の額を合計したもので、期末・勤勉手当、退職手当及び児童手当を含みません。

②特別職の報酬の状況 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

区 分	人 員	報 酬
管 理 者	1 人	なし
副 管 理 者	3 人	なし
議 長	1 人	年額 70,000 円
副 議 長	1 人	年額 65,000 円
議 員	10 人	年額 60,000 円



冬期間の救急事故をなくそう!!

毎年、特に冬期間（12月から3月まで）における救急車の出場件数が多くなります。救急事故の発生を未然に防止するためには、救急事故の傾向や注意点を知り、事前に対策をたてておくことが大切です。

冬期間に救急要請が急増する主な原因

- 1 風邪やインフルエンザなどの冬季に流行する病気の発生
- 2 急性アルコール中毒
→飲酒する機会が増えますので、飲み過ぎに注意しましょう。
- 3 入浴中の溺水や、入浴前後の急激な温度変化
→脱衣所や浴室を入浴前に暖めておきましょう。
- 4 食べ物（おもちなど）をのどにつまらせたことによる窒息事故



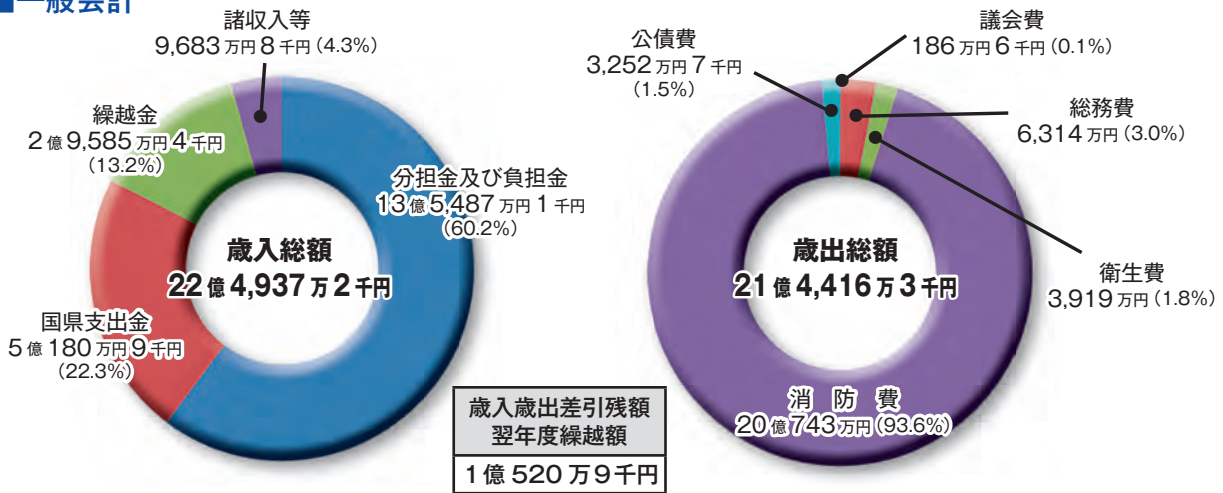
組合の財政状況をお知らせします

相馬地方広域市町村圏組合財政状況の作成及び公表に関する条例に基づき年2回財政公表をしています。今回は、平成24年度各会計決算のあらましと平成25年度上半期の予算執行状況についてお知らせします。

平成24年度決算

平成24年度の予算執行にあたっては、東日本大震災及び原子力発電所事故によりいまだに多くの住民が避難生活を余儀なくされ、地域の経済産業等が崩壊し、極めて厳しい行政運営を強いられている構成市町村の現状を踏まえ、事務事業の見直しと経費削減に努めながら、一般会計では災害に強い安全・安心な地域づくりを推進しました。また特別会計では、地域医療の一助としての役割を果たすための看護専門学校を運営しました。各会計の決算状況は次のとおりです。

■一般会計



○平成24年度における主要事業

項	目	事業費
衛生費	救急医療対策事業	3,919万3千円
消防費	消防救急デジタル無線整備事業	7億445万7千円
消防費	消防用車両取得事業(消防ポンプ車、高規格救急車)	6,088万3千円

■看護専門学校特別会計 歳入総額 2億6,843万9千円 歳出総額 2億3,512万8千円

平成25年度上半期の予算執行状況

(平成25年4月1日～平成25年9月末日現在)

会計	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	16億4,239万0千円	9億7,049万4千円	59.1%	6億3,987万6千円	39.0%
看護専門学校特別会計	2億4,921万4千円	1億6,641万4千円	66.8%	1億1,564万2千円	46.4%

第37回相馬地方広域消防職員意見発表会 開催

日ごろ消防職員が業務を通じて抱えている考えや問題点を意見として発表する「第37回相馬地方広域消防職員意見発表会」を次により開催いたします。

消防関係のほか一般の方々にも是非お越しいただき、消防職員の率直な意見をお聞きいただきたいと思います。

- 日 時 平成26年1月25日(土)午後2時から午後4時まで
- 場 所 原町生涯学習センター(旧サンライフ南相馬)(南相馬市原町区小川町322-1)
- 発表者 相馬地方広域消防職員 8名 ○発表内容 消防防災に関すること
- 問い合わせ 相馬地方広域消防本部(電話0244-22-4164)



～昨年の様子～